

姫路赤十字病院  
卒後臨床研修プログラム

2007年度版

姫路赤十字病院臨床研修管理委員会

## 臨床研修を始めるみなさんへ

姫路赤十字病院長

鍋山 晃

卒後臨床研修が必須化となり、研修制度が大きく変わります。従来のストレート研修からローテイトの研修へ移行し、プライマリーケアを重視するプログラムを必要とします。また全人間的に診療を行い、チーム医療の意義を理解し、EBMに基づく安全な医療を提供する必要があります。昨今の激変する医療情勢において、将来の臨床医としての礎を築く大事な期間であります。この制度を成功させるには研修施設と研修医のみなさんと協力しながらよりよい制度に向上させる必要があります。

当院は明治41年に開設され、増改築により兵庫県西播磨・中播磨医療圏の基幹病院として診療に携わってきましたが、建物の老朽化とともに高度化する医療に対応するには困難となり、平成13年11月に現在の場所に新築移転しました。屋上にはヘリポートを設置し災害医療拠点病院となっています。平成14年には病院機能評価機構の認定も受け、地域中核病院としての役割、診療の質の確保、地域ニーズへの適切な対応などが評価されましたが、特に図書室機能は図書の管理、文献検索機能など高く評価されたことは名誉と思っています。

病院の特徴は急性期医療型の病院として対癌医療、救急医療、周産期医療など幅広い医療を行っていますが、NICUを12症有しており、兵庫県から地域周産期母子医療センターに指定されています。その他赤十字精神のなかの救援・救護活動にそなえ日ごろから訓練に参加しています。

姫路赤十字病院2年間の研修を終える頃には臨床医としての基礎は確立されるものと確信しています。

# はじめに

姫路赤十字病院

臨床研修合同委員会委員長

中 島 晃

医学部を卒業し医師国家試験を合格すると医師として登録され、診療行為を行うことが可能となるのですが、現在の医学教育では無理なことは明白です。そこで卒後臨床研修の必要性のもと昭和43年に現在の研修制度がしかれましたが、ごく一部の病院を除いてはほとんどの研修医はストレートの研修を受けていました。今回の改正でローテーションによる研修が義務化され、プライマリケアを重視し、全人間的な診療能力・態度を身につけ、医師としての人格を涵養する研修を行うこととされています。

当院は平成7年に厚生省の臨床研修病院の指定を受け、従来のストレート研修に加えローテーション研修も行っています。精神科がないため高岡病院と病院群を形成していますので、精神科の研修は同病院で行います。今回の必須化に伴いプログラムの見直しを行い、1年次は内科6か月、外科3か月、麻酔科3か月、2年次は小児科3か月、産婦人科・精神科2か月ずつ、地域・保健医療は1か月のカリキュラムを組んでいます。この1年8か月で定められた項目をクリアしていただきます。残りの4か月は選択期間として将来進みたい科で研修します。また進路が決まっていない研修医は1か月のプログラムから4診療科を選択して研修ができます。研修の進み具合、項目の達成具合などの管理を臨床研修合同委員会で行い、プログラムについての検討、研修医の健康管理・相談なども行います。また院内で定期的開催されるCPCや各委員会が行う講演会には必ず出席していただきます。このように幅広い研修にて単に診療能力を身につけるだけでなくチーム医療、保険医療制度などを理解し、心の豊かな患者・家族に安心感を与えられる医者をめざしてほしいと思います。

# 姫路赤十字病院基本理念

「姫路赤十字病院は、医の倫理と人道・博愛の

赤十字精神に基づく病院づくりを目指します」

## 1. 患者中心の医療

患者の人権と意思を尊重し、説明と同意による患者参画型のチーム医療による患者中心の医療を目指します。

## 2. 救急医療と災害救護の充実

救急医療と国内外の災害救護活動を積極的に進めます。

## 3. 医療の安全と質の向上

常に安全な医療を心がけ、医療の質の向上と高度医療の推進に努めます。

## 4. 医療従事者の教育と研修の推進

研修・研鑽を積み、広く次世代を担う医療従事者の教育・研修の場を提供します。

## 5. 地域との連携

地域医療機関との連携強化に努めるとともに、疾病予防と健康増進を図るなど地域中核病院としての責務を果たします。

## 6. 職員の協調と健全経営

職員の協調と活力ある職場をつくり、経営の健全化に努め、その成果を地域医療活動に還元します。

# 卒後臨床研修プログラム

## 目 次

### 序 文

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| プログラムの名称                             | 1  |
| プログラムの目的と特徴                          | 1  |
| 施設の概要                                | 2  |
| 指導体制                                 | 6  |
| 臨床研修管理委員会                            | 7  |
| 臨床研修部                                | 8  |
| 修了認定                                 | 8  |
| 研修医の処遇                               | 8  |
| 募集要項                                 | 9  |
| 研修カリキュラム                             | 9  |
| 研修評価方法                               | 10 |
| 臨床研修行動目標                             | 10 |
| . 姫路赤十字病院卒後臨床研修共通カリキュラム              |    |
| 基礎研修科目（内科：6ヶ月用）                      | 13 |
| 基礎研修科目（外科：3ヶ月用）                      | 35 |
| 基礎研修科目（麻酔科：3ヶ月用）                     | 39 |
| 必須研修科目（小児科：3ヶ月用）                     | 40 |
| 必須研修科目（産婦人科：2ヶ月用）                    | 43 |
| 必須研修科目（精神科：2ヶ月用）                     | 49 |
| 必須研修科目（地域保健：1ヶ月用）                    | 55 |
| 補足研修科目（脳神経外科、皮膚科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科） | 63 |
| . 姫路赤十字病院卒後臨床研修専攻者用カリキュラム            |    |
| 内科（専攻：4ヶ月用）                          | 64 |
| 小児科（専攻：4ヶ月用）                         | 67 |
| 外科（専攻：4ヶ月用）                          | 77 |
| 整形外科（専攻：4ヶ月用）                        | 81 |
| 皮膚科（専攻：4ヶ月用）                         | 83 |
| 泌尿器科（専攻：4ヶ月用）                        | 85 |
| 産婦人科（専攻：4ヶ月用）                        | 87 |

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 眼科（専攻：4ヶ月用）         | 93  |
| 耳鼻咽喉科（専攻：4ヶ月用）      | 95  |
| リハビリテーション科（専攻：4ヶ月用） | 98  |
| 形成外科（専攻：4ヶ月用）       | 100 |
| 放射線科（専攻：4ヶ月用）       | 101 |
| 脳神経外科（専攻：4ヶ月用）      | 103 |
| 麻酔科（専攻：4ヶ月用）        | 106 |
| 精神科（専攻：4ヶ月用）        | 108 |

・姫路赤十字病院卒後臨床研修非専攻者用カリキュラム

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 整形外科（非専攻：1ヶ月用）       | 115 |
| 皮膚科（非専攻：1ヶ月用）        | 117 |
| 泌尿器科（非専攻：1ヶ月用）       | 119 |
| 眼科（非専攻：1ヶ月用）         | 121 |
| 耳鼻咽喉科（非専攻：1ヶ月用）      | 122 |
| リハビリテーション科（非専攻：1ヶ月用） | 123 |
| 形成外科（非専攻：1ヶ月用）       | 125 |
| 放射線科（非専攻：1ヶ月用）       | 126 |
| 脳神経外科（非専攻：1ヶ月用）      | 127 |